

# 八女市未来づくり協議会

～まちづくり団体の情報誌～ 第2号

発行：八女市未来づくり協議会事務局(地域支援課) TEL0943-23-1224

## 先進地視察研修（大分県：豊後・大山ひびきの郷にて）



八女市未来づくり協議会では、平成23年12月1日～2日に視察研修を行いました。参加者は、各地区のまちづくり協議会の役員と市職員の総数48名で、大分県宇佐市と日田市大山町の2ヶ所を視察しました。1日目は、宇佐市の地域コミュニティづくりにおける行政側の人的支援や財政支援の状況等について聞き、また同市で最初に地域振興計画を策定した安心院町の「佐田地区まちづくり協議会」からは、時代と共に集落機能が低下する中で、協議会を発足し地域振興計画を立てるに至った経過と、現在の活動状況等について説明を受けました。2日目は、「一村一品運動」の原点として知られる日田市大山町を訪れ、リキュール工房を中心とした「ひびきの郷」で地元の素材（梅）を活用し、大山の魅力を地域活性化へつなげている話などを聞きました。今回の地域振興計画を中心とする視察研修の成果をもとに、先行して地域振興計画の策定に取り組んでいる光友地区地域振興会議と、串毛地区自治運営協議会以外の協議会にもこの取組みを順次広げていきます。

《会長あいさつ》 未来づくり協議会会長 草場雄二郎

八女市未来づくり協議会が発足して、早2年目が終わろうとしています。21の校区まちづくり協議会では、提案事業等を活用し地域活性化に取り組んでいます。しかし、地域づくりはこれだけでは不十分であると考えます。地方交付税や国庫補助の削減により市の財政状況は一段と厳しさを増しており、さらに過疎化による集落機能の低下も進んでいます。今後は、住民自らの参画、協働体制による事業推進を図る必要があります。地域課題の解決策や将来像を検討し、行政への要望事項をまとめた『地域振興計画』を策定し、地域のことは自己決定、自己責任で行なえるよう地域の体制づくりにご尽力いただきますようお願いいたします。



《市長あいさつ》 八女市長 三田村統之

日頃より行政運営、地域づくりにご尽力いただき誠にありがとうございます。本年度は新たな市民提案事業として、「地域づくり提案助成事業」を創設し、まちづくり協議会の皆さまに、地域の振興や活性化など、魅力あるまちづくりに向けた事業に取り組んでいただいています。引き続き「ふるさとの恵を生かし安心して心ゆたかに暮らせる交流都市八女」の実現に向け、職員一丸となった行政運営に邁進してまいりますので、ご理解とご支援をお願いいたします。



## ○ 辺春地区地域振興会議「猪肉加工施設の研修」

**【事業概要】** 辺春地域振興会議では、駆除したイノシシは地域の交流・懇談会などを開催した際食しているが、今後は、地域(農家)の収益に結びつけるために、イノシシ肉の食品加工の視察研修を行う。先進地では、食品加工施設の設置場所形態、運営方法等を調査し、市に施設設置を働きかける。

**【事業実績】** 島根県美郷町開催の『山くじらフォーラム』へ参加  
○研修1…山くじらハムを使った給食の視察 ○研修2…豚を知り、猪を知る (①猪の習性を知ることが大事…そもそも警戒心が強い。繁殖は年に1回。豚は猪を家畜化したもの。学習能力が高い。跳躍は立ち止まって2メートルぐらい可能。青色は確実に判別できるが赤色は不可。②食肉にする場合……ばれた(走った)後は肉が熱を持っているので体を冷やしてから処理する。猪の処理に困るから加工するのではなく、加工するために獲る。)

○研修3…山くじらを料理に出す『松江京らぎ』社長から…山くじらとの関わり

○研修4…猪プレスハム加工の活動事例『県立出雲農林高校』(①高校生が猪肉をハムに加工…非常に美味しい。販売価格を検討中。②自然放牧牛の牛乳からヨーグルトを製造…濃厚なプリンのような製品が完成) ○研修5…情報交換会(行政機関(県、市町村)参加者多し。猪料理の試食)

**【事業効果及び今後の展望】** 猪の食肉加工では、失敗した事例も報告されているが、美郷町のように美味しく獲れば(走り回った後ではなく、猪が落ち着いて体温が下がってから殺す)、美味しい肉が加工でき、販売も順調にできると確信を得た。また、夏場に取れた猪は、豚肉の脂を使ってハムに加工すれば出雲農林高校が加工したように美味しいハムになることも確信できた。猪肉は、現在は箱罾猪捕獲グループ等により食されているが、今後できる限り早く加工施設を建設して戴き、農家の収益に結びつくよう努力して行きたい。猪の捕獲についても、地域や市町村の垣根を越えて連携して捕獲する必要がある。今後は、行政と連携しながら、猪の習性や捕獲方法等の学習会等を開催し、更なる対策を講じていきたい。



▲ 山くじらハム



▲ 猪肉販売用

## ○ 木屋地区自治運営協議会「森林セラピー基地『グリーンピア八女』と、癒し・スローフードの美しい」

**【事業概要】** 木屋地区自治運営協議会は、黒木町のほぼ中央に位置し、10行政区660名の会員で構成している。木屋地域には、森林浴と癒しの空間を提供するグリーンピア八女、また、登山愛好家に親しまれている木屋三山(雄岳、雌岳、星塚山)が存在している。登山愛好家や竹林オーナー、蕎麦オーナーを媒体として、木屋地域の景観や、歴史・文化資源のすばらしさを都市住民に発信するために、グリーンピア八女を拠点にイベントを実施した。

### 【事業実績】

- 木屋三山縦走登山
- 竹材を利用した正月用門松、花台づくり
- 地元産の蕎麦粉を利用した蕎麦打ち体験
- 花いっぱい運動と花づくりコンテスト

### 【事業効果及び今後の展望】

- 共同作業による地区民の郷土意識の高揚と、共同体としての絆が育まれることが期待できる。
- 都市住民の農産物に対する理解が深まり、販路拡大などによる地域活力増加が期待できる。
- 今後継続的に事業を推進し、物を作る楽しさや食の安全性に対する理解を深めることによって、リピーターを含めた来訪者の増加を目指し、地域の活力向上とグリーンピア八女の利用拡大に繋げていきたい。



▲ そば御膳の出来上がり



▲ 地元産そば粉使用の蕎麦打ち

## ○ 小野地域振興会「地域の誇り巨木「榎」に集う交流事業「榎友祭」の開催」

**【事業概要】** 小野地域振興会は、星野村小野地域の住民自らが話し合い自らの創意工夫により、地域の様々な課題解決に取り組むとともに、行政と協働してよりよい地域づくりを推進するため、平成17年4月に設立しました。小野地域交流センター（旧小野小学校）には、市指定文化財である樹齢数百年の榎があり、古くから小野地域のシンボルとして、住民に親しまれています。この榎の下に集い、住民が触れ合う機会を作ろうと『小野ふれ愛まつり榎友祭』を開催しました。



▲ 小野ふれ愛まつり榎友祭

### 【事業実績】

『期日』平成23年10月15日（土）

『場所』小野地域交流センター運動場

『内容』①親睦・交流事業部門

（集落対抗の出し物、地元中高生バンド演奏、健康づくり体操指導など）

②地域振興部門（星野紅茶の新作発表、試飲）

③プランターによる来訪者へのおもてなし



▲ 会場を埋めつくす観客

『参加者』約300名

**【事業効果及び今後の展望】** 地域において世代間での交流の機会が少ないなか、この事業を通して、住民自らが企画し、主催者にも参加者にもなることで、コミュニティの構築に大きく寄与することができました。また、地域の親睦事業と様々な地域振興事業を実施することにより、区域外住民並びに都市圏住民との交流推進ができ、「明るく元気な小野地域づくり」の実現が期待できます。

## ○ 上陽校区まちづくり協議会「上横山地区防災ふれあい事業」

**【事業概要】** 上陽町上横山地区は、面積の大部分が山林で急速な過疎高齢化に悩む地域です。この地域で東日本大震災のような災害や大雨災害が発生した場合にどう対処するのか？広がる住民の不安を解消するために、「上横山地区防災ふれあい大会」を企画しました。その結果、行政・警察・消防・消防団・自衛隊、そして地元住民が一体となった取組みに発展し、当日は約350人が参加する久しぶりの地域あげでの大会となり、歓声に笑いあいの充実した一日となりました。



▲ シート張り訓練

### 【事業実績】

『期日』平成23年10月23日（日）

『場所』旧横山小学校グラウンド

『内容』避難訓練、シート張り訓練、救急法訓練、担架搬送・初期消火競技、八女消防本部音楽隊ミニコンサート、地元消防団による小型ポンプ操法披露ほか



▲ 救急法訓練

※炊き出し訓練では、炊飯袋を使って大釜でご飯を作り、陸上自衛隊久留米駐屯地の協力により豚汁が作られて皆さん「おいしい」と喜んで食べていました。

**【事業効果及び今後の展望】** 今回の大会は、通常行われる防災関係者のみの訓練とは異なり、地域住民がそれぞれの訓練項目に参加することで大きな成果を上げることができました。また、この大会の代表を務めた馬場猛さんは、「地域のまとまりが大事。この取組みが市全域のモデルとなり活性化につながれば嬉しい。今後も発信基地として頑張っていきたい。」と意気込みを語っています。

○ 矢部地域づくり協議会「矢部地区自然景観整備（蹴洞岩・八名山：高取山）」

**【事業の概要】** 矢部村の日向神峡には、神代の昔、日向の神が白馬にまたがり空を飛びまわる際に岩に蹄を当て蹴り空けたとされる「蹴洞岩（けほぎいわ）」という伝説の岩があります。近年、手前の立木が穴を隠して見えにくくなっていました。また、標高千メートル級の八名山の一つ「高取山」からの眺望も付近の立木により遮られていたため、矢部地域づくり協議会では、地権者の協力を得て、伐採作業を実施することになりました。



▲ 伐採後の蹴洞(けほぎ)岩

**【事業実績】** 12月17日（土）晴天寒風の中、ボランティア総勢32名は、まず、危険な作業に備え指導員より丁寧な説明・指導を受けて持ち場につきました。蹴洞岩は急傾斜の足場に細心の注意を払いながら、ダム湖畔から穴が見えるように支障木を伐採、高取山は機械を担ぎ40分ほど登山後の作業となり現場に着くだけでも汗だくになり、頂上付近の鬱蒼と茂るヒノキや杉の伐採を実施しました。またこの日は山だけでなく、小学校付近の矢部川の立木除去や葎の草刈りも行いました。



**【事業効果及び今後の展望】** 今回の作業により、けほぎ橋や日向神湖畔から、最近注目のハート岩とともに蹴洞岩がよく見えるようになりました。高取山の頂上からは矢部の山々をはじめ県内最高峰の「御前釈迦連峰」が一望できるようになり、地域住民はもとより登山客にも喜んでいただけるようになりました。今後も地域文化・観光の発展に寄与できるよう活動していきたいと思えます。

## 平成23年度未来づくり協議会の取組み

開催日	事業名	事業の詳細	参加者
平成23年 5月12日	第1回役員会	平成23年度第1回未来づくり協議会の開催について	会長、副会長 事務局
5月17日	未来づくり協議会総会 (第1回 未来づくり協議会)	①平成23年度未来づくり活動について ・未来づくり協議会の重点活動について ・平成23年度事業計画・予算について ②市執行部との意見交換会	協議会委員34名 市執行部10名 事務局、支所5名
8月29日	第2回役員会	まちづくり研修会及び先進地視察研修について	会長、副会長 事務局
10月17日	第3回役員会	まちづくり研修会役割分担及び先進地視察研修について	会長、副会長 事務局
10月17日	まちづくり研修会	①まちづくり活動事例発表(2団体) ・長峰校区、星野地区まちづくり協議会 ②講演会「行政に頼らない地域づくり」 ・講師：豊重哲郎氏(柳谷集落公民館長) ③組織づくり研修会(豊重氏を囲み意見交換会)	来賓(市長、議長) まちづくり協議会 構成員、公民館長、 議員、区長、市民 参加者 210名
12月1日 ～2日	先進地視察研修	地域づくりに関する先進的事例調査(1泊2日) ・宇佐市：佐田地区まちづくり協議会 ・日田市：大山町ひびきの郷	協議会委員39名 事務局4名 支所5名
平成24年 1月24日	第4回役員会	視察研修の総括及び第2回未来づくり協議会要領の検討	会長、副会長 事務局
2月9日	第2回 未来づくり協議会	①21まちづくり協議会の活動実績の報告 ②未来づくり協議会事業を振り返って ③市執行部との意見交換	協議会委員40名 市執行部10名 事務局、支所9名